

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 亀の子

目 次

1. 法人の目的	1
2. 亀の子の理念	1
3. 法人の基本方針	1
4. 事業の概略	2
5. 各事業部門	3
(1) 本部	
I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営	3
II. 経理部門	3
III. 地域福祉との連携	3
IV. 福祉避難拠点	4
V. 職員(人材)の育成	4
VI. 各種規程の新規作成・改定	8
VII. 法人運営会議	8
VIII. 情報公開	9
(2) 障がい者支援部門	
I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】	10
II. 日常生活支援【のほほん】	13
III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】	17
IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】	21
V. 福祉的就労支援【遊亀館】	24
VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】	27
VII. 住まいの支援【タートルホーム】	31
(3) 児童支援部門	
I. 保育支援【たから保育園】	33
II. 障がい児通所支援	
【かめっ子クラブ】	36
【かめっ子クラブⅡ】	38
【かめっ子クラブⅢ】	39
(4) メンバーの家族との連携	41
(5) 苦情解決	41
(6) 職員	41
(7) 非常災害対策	42
6. 社会貢献活動	42

1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

3. 法人の基本方針

(1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

(2) 利用者援助の基本方針

- ① 利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ② 自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③ 亀の子セルプは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④ 「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤ 人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥ 苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦ 個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

4. 事業の概略

(1) 社会福祉事業 第二種

事業所名	事業名	定員	住所
亀の子サポートセンター	・特定相談支援事業 ・大田市委託相談支援事業 ・障がい児相談支援事業		大田市長久町長久口267番地6
のほほん	・地域活動支援センター ・島根県高次脳機能障がい者支援事業		大田市長久町長久口267番地6
亀の子工房	・就労継続支援 B 型	20名	大田市長久町長久口267番地6
遊亀館	・就労継続支援 A 型	20名	大田市長久町長久口267番地6
ふぁみりーわーく	・自立訓練(生活訓練) ・生活介護	6名 14名	大田市長久町長久口335番地1
タートルホーム	・外部サービス利用型共同生活援助	10名	大田市長久町長久口267番地6
		5名	大田市長久町長久イ453番地10
		4名	大田市長久町長久口268番地18
たから保育園	・認可保育所	50名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブ	・放課後等デイサービス ・児童発達支援	10名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブⅡ	・放課後等デイサービス	10名	大田市長久町長久口267番地6
かめっ子クラブⅢ	・放課後等デイサービス	10名	大田市長久町長久口268番地2

(2) 公益事業

事業所名	事業名	住所
ジョブ亀の子	・障害者就業・生活支援センター事業 (雇用安定等事業)	大田市長久町長久口267番地6

5. 各事業部門

(1)本部

I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営

社会福祉法人制度改正及び各種法改正に基づき、適正かつ総合的に取り組みました。

II. 経理部門

- ① 社会福祉法人新会計基準に則り、正確な会計処理に努めました。
- ② 予算に基づく適切な会計処理を行いました。
- ③ 工賃向上のために、原価及び経費の見直しをし、コスト削減に努めました。
- ④ 公認会計士 松井久氏に財務会計に係る情勢整備状況の点検及び適切な会計処理が行われているかどうか確認、指導を頂きました。(年3回実施)
- ⑤ 財務状況並びに運営状況を明らかにし、法人の今後の中長期計画を立案しました。

III. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした活動をおこないます。

当法人施設は、経済・福祉団体等、様々な関係機関とも連携をとり、地域住民も参画し(ボランティアの協力)、共に共有、共存できる施設を目指しました。

1) 地域との連携で次の事項を実践しました。

- ① 大田市障がい者自立支援協議会に参画しました。
- ② 社会福祉協議会と連携し諸施策の実行を行いました。
- ③ 地域行事への参加(天領踊り等)
- ④ 施設行事へ地域住民の協力・参加(亀の子祭)
- ⑤ ボランティアの受け入れと交流(うさぎの会等)
- ⑥ 市内中学校の体験実習の受け入れ
- ⑦ 機関紙「亀の子」の発行
- ⑧ 福祉体験学習の場の提供(大学生・専門学校生の実習の受け入れ)
- ⑨ 大田商工会議所及び九号線長久商工振興会の活動に参加

2) 施設見学者・視察研修者

日付	来 所 者	人数
5.22	県央保健所・大田市 保健師	4
7.10	出雲養護学校高等部 生徒・教諭	4
6.14	出雲養護学校邇摩分教室 生徒・教諭	6
8.22	出雲養護学校大田分教室PTA	8
11.29	出雲養護学校邇摩分教室 生徒・教諭	6
12.11	ぼんぼん船 利用者・家族・職員	25
12.18	大田高等学校 生徒	4
12.18	大田高等学校 生徒 (たから保育園)	10
1.31	伊波野地区同和教育推進協議会委員	7
	合 計	74

3) 体験等実習

日付	実習者	人数
6.6～8	江津清和養護学校 生徒	1
6.12	島根大学医学部看護学科 学生	2
6.12～23	出雲養護高等部2年生 生徒	1
6.12～23	山陰中央専門大学校 学生	1
7.4	島根大学医学部看護学科 学生	2
8.21～23	江津清和養護学校高等部3年生 生徒	1
8.23～25	大田市立第二中学校 生徒(たから保育園)	2
9.20～26	出雲養護学校仁摩分教室 生徒(たから保育園)	1
9.27～29	大田市立第一中学校 生徒(たから保育園)	2
9.27～29	大田市立第一中学校・第三中学校 生徒	3
10.2～5	出雲養護学校邇摩分教室 生徒	1
10.18～20	出雲養護学校高等部 生徒	1
10.26	島根県立大学 学生	2
11.7～8	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 学生	2
11.14～15	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 学生	2
11.27～12/8	出雲養護学校高等部 生徒	1
12.1～12/8	出雲養護学校高等部 生徒	1
合 計		26

IV. 福祉避難拠点

福祉避難所として、非常食や備品の整備に務めました。また、防災訓練を実施しました。

V. 職員(人材)の育成

1) 施設内研修

- ①メンバーの処遇について・専門的関わりについての学習会を行いました。
- ②法人職員としての接遇についての学習会を行いました。
- ③役職者を対象とした研修を行いました。
- ④新任職員研修を入社後3ヶ月以内に5回行いました。

研修名	実施月日	対象	参加人数
放課後等デイサービス事業ガイドライン研修	4.25	放課後等デイサービス職員	10
新職員等社内研修	5.9・16・29・6.13・14	新入社員	6

研修名	実施月日	対象	参加人数
SST 研修	6.10	障がい福祉職員	16
精神保健福祉に携わる職員としての援助技術を高めるための SST	9.30	全職員	21
役員人権・同和問題研修会	12.26	理事・評議員・監事・管理職	14
役付職員研修	3.17	役職職員	7
障がい者虐待防止研修	3.26	放課後等デイサービス職員	18

2) 施設外研修

①本部・役員

5講座に 延べ8名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度社会福祉法人指導監査説明会・役員研修	7.7
障がい福祉サービス経営セミナー	9.7～8

②亀の子サポートセンター

14講座に 延べ20名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
島根県相談支援専門員協会総会・相談スキルアップ研修会	5.21・7.6 11.24～25
平成29年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	6.29～30
発達障がい講演会	10.14

③のほほん(高次脳機能障がい支援事業含む)

14講座に 延べ21名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	5.18～19
平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【初任者コース】	7.25～26
平成29年度島根県高次脳機能障がい者支援研修会	7.30・12.2

④ふぁみりーわーく

9講座に 延べ12名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度第1回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	7.14
全国精神障害者地域生活支援協議会 あみ結成 20 周年記念大会	7.21～22
SST 普及協会中国支部初級研修会	10.28～29

⑤亀の子工房

13講座に 延べ16名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
全国福祉施設士セミナー	8.3
工賃向上計画作成セミナー	1.11
平成29年障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.6～7

⑥遊亀館

7講座に 延べ9名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修【チームリーダー】	5.18～19
公正採用選考推進セミナー	8.28
発達障がい者就労先企業視察研修	12.14

⑦ジョブ亀の子

6講座に 延べ7名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度障害者就業・生活支援センター 中国・四国ブロック経験 交流会議/障害者就業・生活支援センター中国・四国地区ワーカー連 絡会 in とっとり	11.7～8
平成29年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.6～7
出雲圏域高次脳障害者支援研修会	3.14

⑧タートルホーム

5講座に 延べ7名の職員が受講しました。
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修【チームリーダー】	5.18～19
全国精神障害者地域生活支援協議会 あみ結成 20 周年記念大会	7.21～22

⑨たから保育園

16 講座に 延べ27名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅職員コース】	7.5～6
平成29年度キャリアアップ研修(障がい児保育)	10.2～4
第61回 島根県保育研究大会	11.4

⑩かめっ子クラブ

10講座に 延べ12名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
相談支援従事者初任者研修	7.12～13 8.22～24
ミュージックケア 第19回 島根一日体験セミナー	10.1
平成29年度 島根県高次脳機能障がい者支援研修会	12.2

⑪かめっ子クラブⅡ

9講座に 延べ9名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修【中堅職員コース】	7.5～6
基礎から学ぶ発達障害・知的障害～保護者との関わり方も含めて～	8.5～6
西部地区スキルアップ研修	3.8

⑫かめっ子クラブⅢ

10講座に 延べ13名の職員が受講しました。
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成29年度 自閉症支援入門研修会	5.31～6.2
ミュージックケア(全5回)	10.1～2.10
平成29年度 人権研修【児童】	2.1

3) 主催研修

①障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生(鳥取県立総合療育センター シニアディレクター)を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名	対象者	実施日	参加人数
実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」	対象児童の関係者等	6.16	24
	対象児童の関係者等	11.22	22
	保育園・対象児童の関係者等	3.2	24

②高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県立心と体の相談センターより委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

研修内容	対象者	実施日	参加人数
障がいのある方への虐待防止について 講師：阪田 健嗣 氏 (西部島根医療福祉センター 育成部長)	障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等	7.14	53
子どもの高次脳機能障がいと発達障がい 講師：山崎佳史 氏 (東部島根医療福祉センター)	教育・保育・ 障がい福祉・ 行政職員 等	8.2	32

③ジョブ亀の子主催研修

ジョブ亀の子主催研修は、P.30に「ネットワーク強化・充実事業」として記載しております。

VI. 各種規程の新規作成・改定

各種法改正に基づき、運営規程の見直しを行い、修正・追加等を行いました。

VII. 法人運営会議

1) 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

	開催日					
理事会	6/7	6/22	10/24	12/26	3/29	
評議員会	6/22	12/26				
監査会	5/27	10/10、10/11、10/16 は県の監査				

2) 全体職員会議

構成	全職員					
目的	施設間の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。					
開催	5.15	11.14				

3) 役職会議

構 成	役職員(理事長・副理事長・総括施設長・部長・次長)					
目 的	施設間の連絡、調整及び法人・施設業務が円滑に推進できるように調整を図る。					
開 催	4.18	5.8	6.19	7.25	8.17	9.12
	10.24	11.21	12.11	1.29	2.20	3.29

4) 就労生活委員会

構 成	障がい各部門の役職者等						
目 的	障がいの各部署の連携及び利用者の就労に向けた支援がスムーズに図られるように調整を行う。						
開 催	4.13	5.11	6.12	7.13	8.10	9.14	10.12
	11.9	12.7	1.11	2.8	3.8		

5) 虐待防止委員会

構 成	管理職・虐待防止マネージャー・看護師・利用者代表・家族代表・第三者委員					
目 的	利用者児の虐待を未然に防ぐための、施設環境づくりを目指す。					
開 催	5.29					

6) 職員会議

構 成	各部門の職員						
目 的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。						
開 催	亀の子工房 のほほん タートルホーム	4.18	5.16	6.15	7.19	8.22	9.19
		10.20	11.20	12.19	1.17	2.20	3.20
	ふぁみりー わーく	4.21	5.17	6.16	7.18	8.21	9.22
		10.19	11.24	12.15	1.26	2.23	3.23
	遊亀館 ジョブ亀の子 サポートセンター	4.18	5.16	6.20	7.18	8.22	9.19
		10.17	11.21	12.12	1.16	2.20	3.20
	かめっ子 クラブ	4.17	5.24	6.20	7.19	8.17	9.15
		10.20	11.22	12.13	1.23	2.21	3.22
	たから 保育園	4.19	5.17	6.21	7.19	8.23	9.20
		10.18	11.15	12.20	1.17	2.21	3.24

VIII. 情報公開

事業計画・収支予算書、事業報告・収支決算書等ホームページ上で情報公開を行いました。

(2)障がい者支援部門

I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

1) 目的

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る事を目的としています。

2) 方針

大田地域で生活する、全ての障がい者を対象とし、この大田地域の中できっと前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

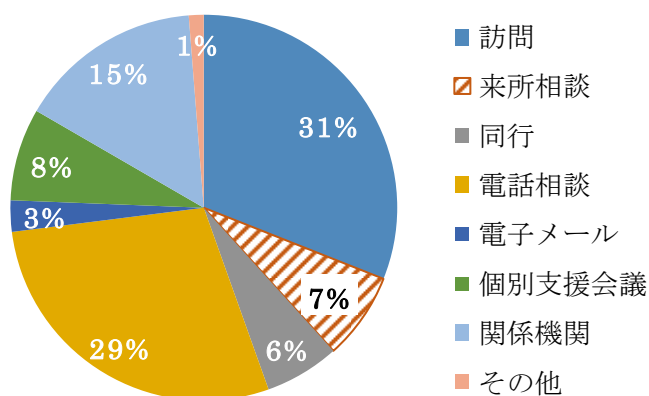
8:30 ~ 17:30 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応)

17:00 ~ 9:00 (電話を携帯電話に転送して対応)

4) 生活相談事業

(単位:件)(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
訪問	82	110	84	81	64	69	68	68	52	56	51	43	828	69.0
来所相談	23	27	31	15	19	13	12	14	7	13	15	6	195	16.3
同行	17	27	19	14	15	8	9	13	17	9	13	6	167	13.9
電話相談	55	95	61	60	57	64	64	54	71	119	47	12	759	63.3
電子メール	9	5	4	6	14	1	6	12	0	11	2	0	70	5.8
個別支援会議	26	18	17	16	12	18	11	21	16	11	18	23	207	17.3
関係機関	43	51	68	39	33	21	31	25	32	35	19	14	411	34.3
その他	10	1	4	6	3	0	2	3	0	0	4	0	33	2.8
計	265	334	288	237	217	194	203	210	195	254	169	104	2,670	223
実人数	99	95	97	82	62	69	63	78	65	66	57	53	184	73.8



5) 認定調査

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
件数	4	4	1	6	1	4	6	1	8	5	3	8	51	4.3

6) 相談実績

①実績内訳

(単位:延べ件数)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの利用等に関する支援	163	131	91	97	74	94	89	92	95	95	66	70	1,157
障がいや病状の理解に関する支援	19	34	17	14	34	36	30	10	8	18	14	5	239
健康・医療に関する支援	32	87	86	58	58	49	49	30	49	73	57	7	635
不安の解消・情緒安定に関する支援	24	101	78	52	73	52	67	62	66	73	49	8	705
保育・教育に関する支援	5	1	3	3	1	6	5	0	3	3	6	3	39
家族関係・人間関係に関する支援	29	71	49	27	42	31	26	36	28	51	21	10	421
家計・経済に関する支援	12	50	30	20	20	21	10	14	27	37	11	2	254
生活技術に関する支援	14	20	26	22	16	11	23	7	7	12	6	3	167
就労に関する支援	13	4	9	10	4	3	7	5	3	12	3	7	80
社会参加・余暇活動に関する支援	1	0	2	4	1	2	0	4	0	3	0	0	17
権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住居に関する支援	5	10	13	12	21	9	5	5	8	9	2	6	105
地域生活移行・自立生活に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
障害程度区分認定に関する支援	2	2	3	8	0	0	2	0	3	1	0	2	23
その他	15	19	23	23	12	6	9	8	3	23	13	8	162
合計	334	530	430	350	356	320	322	273	301	410	248	131	4,005

②計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	4	1	1	3	0	1	0	1	2	0	1	2	16
継続利用支援	75	81	80	67	52	57	54	64	49	58	48	43	728

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	6
継続利用支援	19	12	15	12	9	10	9	13	13	8	8	8	136

④支援対象契約者数

	年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
障がい者	115	7	10	112
障がい児	37	7	1	43
合計	152	14	11	155

7) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
出席者数	3	3	3	3	3	2		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
出席者数	3	3	3	3	3	3	35	

②その他

連絡会名 等	参加回数	延べ参加者数
大田市自立支援協議会各部会	11	11
大田圏域相談支援事業所会議	1	2
病院・市町等保健所連絡会	1	1
障害者就業・生活支援センター連絡会議	2	2
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議	2	2
ゆきみーる運営等検討会議	4	4
地活センター連絡会	2	2
精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議	1	1
ウインドブロック連絡会	1	1
大田市自立支援協議会各部会	11	11

II. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前に生きていける自信に繋がるように支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ~16:00

4) 地域交流活動推進事業

①開館日数及び利用者数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	27	26	28	29	25	27	26	26	25	25	25	28	317
利用者数	74	77	78	70	68	70	74	73	62	72	70	79	115
延べ利用者	512	498	518	494	419	436	439	431	372	392	402	489	5,402

1日あたり平均利用者数:17.0人

②月例行事

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ	平均
お茶会	49	968	19.8
カラオケ	25	160	6.4
創作活動	22	103	4.7
脳トレ	21	131	6.2
スポレク・ウォーキング	18	84	4.7
料理教室・クッキング	18	125	6.9
のほほんシアター	17	137	8.1
ゲーム	14	95	6.8
紙芝居	12	97	8.1
Myカレンダー作り	12	83	6.9
らくらく体操・足腰元気トレーニング	10	56	5.6
エアロビクス教室	10	175	17.5
川柳を読もう	6	31	5.2
むかしの遊び	6	30	5.0
エコ活動	6	20	3.3
ミュージックケア	5	82	16.4

月例行事	開催数	延べ	平均
ショッピング	4	30	7.5
絵画同好会	1	2	2.0
合 計	257	2,443	9.5

※料理教室では、精神保健福祉ボランティア「うさぎの会」の皆様にも協力してもらい、メンバーさんも楽しく参加することができました。

③各月行事

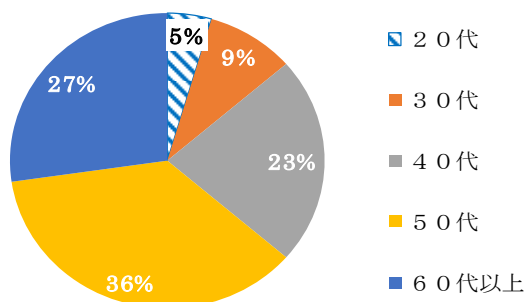
月	内容	参加人数
4月	お花見(亀の子工房と共催事業)	1
5月	水害避難訓練	5
8月	マジックショー Let`s play English	10 3
9月	消防訓練	1
10月	新聞折	8
12月	ミニクリスマス会 落語(高次脳家族の集いと共催事業) 地域活動	10 17 2
1月	ミーティング 初釜 餅つき 五十猛グロ	6 34 1 6
2月	節分祭	6
3月	ひな祭り 消防訓練	8 3
合計	16件	121

5) 高次脳機能障害者支援拠点事業

①支援対象者

(平成30年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	1	2	1	6	4	14
女性	0	0	0	4	2	2	8
計	0	1	2	5	8	6	22

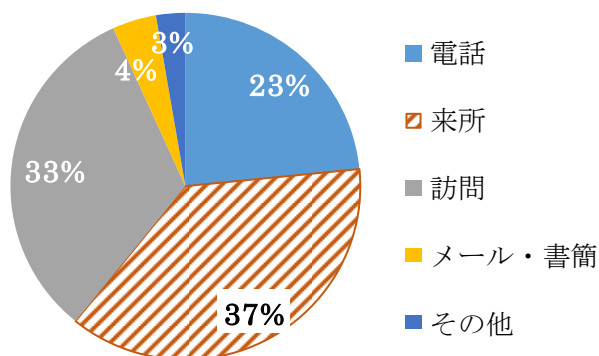


②新規相談者数

実人員	医療機関	障がい者支援事業所	介護保険事業所	保健所	市町村	その他	なし
3	1	2	0	0	0	0	0

③相談延べ件数

	電話	来所	訪問	メール書簡	その他	計
本人	11	62	56	3	3	135
家族	8	9	3	6	3	29
関係機関	33	12	13	0	0	58
計	52	83	72	9	6	222



④大田圏域支援ネットワーク会議

	開催日	会場	参加者数
第1回	H29.5.26	県央保健所 集団指導室	25名
第2回	H29.9.22	県央保健所 集団指導室	24名
第3回	H30.1.26	県央保健所 集団指導室	21名

⑤圏域研修会開催

島根県立心と体の相談センターの委託を受け、2回実施しました。詳細は、P.7にて掲載しております。

⑥会議参加状況

会議名	参加回数
島根県高次脳機能障がい者支援コーディネーター連絡会議	2
島根県高次脳機能障がい者支援ワーキンググループ	3
島根県自立支援協議会 高次脳機能障がい者支援部会	2
高次脳全国協議会及びコーディネーター全国会議	1
出雲パワーネット会議	5

会議名	参加回数
浜田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議	2
脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 実行委員会	4

⑦高次脳家族の集い実績

開催日	内容	参加者				
		当事者	家族	ボランティア	支援者	計
6.26	①今年度の計画話合い ②近況報告会	6	2	1	3	12
10.14	日帰り研修旅行 (みかん狩り・安来節演芸館)	7	2	0	4	13
12.8	①近況報告会 ②落語(魚や旬楽師匠)	6	2	2	2	12
3.23	①料理教室 ②近況報告会	6	4	0	2	12

⑧その他活動.

「脳外傷友の会らぶ」会員の協力により、家族相談を実施しました。

(相談開催日数) 計3回

⑨高次脳機能障がい者支援コーディネーター

坂根 勉

Ⅲ. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】

(自立訓練(生活訓練)事業・生活介護事業)

1) 支援方針

- ① 自立に向けて、SST 等を活用して個々の生活能力の向上に努め、自立を促しました。
- ② 障がいの重い人や、高齢の利用者へは傾聴に努め体力維持を主体に支援しました。
- ③ 作業をすることにより、達成感を持ち社会の一員としての役割が持てるように支援をしました。
- ④ レクリエーション活動を通じて、楽しみや充実感を持てるように支援をしました。
- ⑤ たから保育園の園児と農作業を通して、世代間交流をしながら体力作りと自然にいそしみ野菜が実る楽しみを支援しました。
- ⑥ 一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を立案し、支援しました。

2) 支援時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に11:45～13:00を昼食時間とする。)

3) 各事業部門事業内容及び成果

① 自立訓練(生活訓練)事業

- SST教室
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会や「スマイル」さんとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- 料理教室・買い物訓練を実施
- 箱折り、袋詰め、シール貼り、手芸の作業訓練を実施
- 身体機能の低下を予防する為の健康体操を毎日実施
- 温泉への入浴支援を実施
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

② 生活介護事業

- 身体機能の低下を予防するための健康体操を実施
- ぬり絵・手芸の実施
- 農作業・袋詰め・シール貼り等の活動を実施
- 医師・看護師等による健康管理を実施
- 温泉への入浴支援を実施
- 料理教室・買物の訓練を実施
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会や「スマイル」さんとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- SST 教室
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

③ 成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、達成感を持ち主体的に活動し、楽しみや生きがいにつながりました。
- 外出支援で、選挙の期日前投票に出かけ、社会に参加することができました。
- 久手小学校小学3年生に「ボッチャ」を教える機会を持ち、主体的な関わりができました。

- 嘱託医の健康相談や看護師の健康管理により、健康面での意識の向上が図られ、必要な方には専門医の受診が速やかにおこなうことができました。
- SST 教室でのロールプレイを通して、コミュニケーション力や日常生活の技能の向上が見られました。
- 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。
- 送迎支援により、足腰の弱い方や遠方の方の利用が可能となり、生活リズムや体調を整えることができ、継続して地域生活を送ることができました。
- 福祉制度について、勉強する機会を持つことで、自分のこととして意識し主体的に更新申請をする意識の向上が見られました。

④研修

- 「亀の子工房」との合同研修会を実施しました。(詳細は21頁に記載)

⑤利用者年齢別構成表(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

		～29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
自立訓練 (生活訓練)	男性	2	0	0	1	0	3	36歳3ヶ月
	女性	1	1	1	0	0	3	35歳10か月
	計	3	1	1	1	0	6	36歳1か月
生活介護	男性	0	0	0	3	3	6	60歳5か月
	女性	2	1	1	1	5	10	50歳1か月
	計	2	1	1	4	8	16	54歳0か月
合計	男性	2	0	0	4	3	9	48歳4か月
	女性	3	2	2	1	5	13	42歳9か月
	計	5	2	2	5	8	22	45歳6か月

⑥利用年数(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

		1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
自立訓練 (生活訓練)	男性	3	0	—	—	3	0年8か月
	女性	2	1	—	—	3	1年1か月
	合計	5	1	—	—	6	0年11か月
生活介護	男性	0	0	0	6	6	6年7か月
	女性	3	1	1	5	10	4年2か月
	合計	3	1	1	11	16	5年1か月
合計		8	2	1	11	22	3年0か月

⑦利用者の主な障がい種別

障がい種別	精神	知的	身体	その他
自立訓練(生活訓練)	4名	2名	0名	0名
	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
生活介護	12名	2名	2名	0名
	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%

⑧利用者手帳所持者数(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

		精神 1級	精神 2級	精神 3級	療育 A	療育 B	身体 2級	なし	合計
自立訓練 (生活訓練)	男性	0	0	0	0	1	0	2	3
	女性	0	1	1	0	1	0	0	3
	計	0	1	1	0	2	0	2	6
生活介護	男性	0	1	0	0	1	1	0	3
	女性	6	5	0	0	2	0	0	13
	計	6	6	0	0	3	1	0	16
合計		6	7	1	0	5	1	2	22

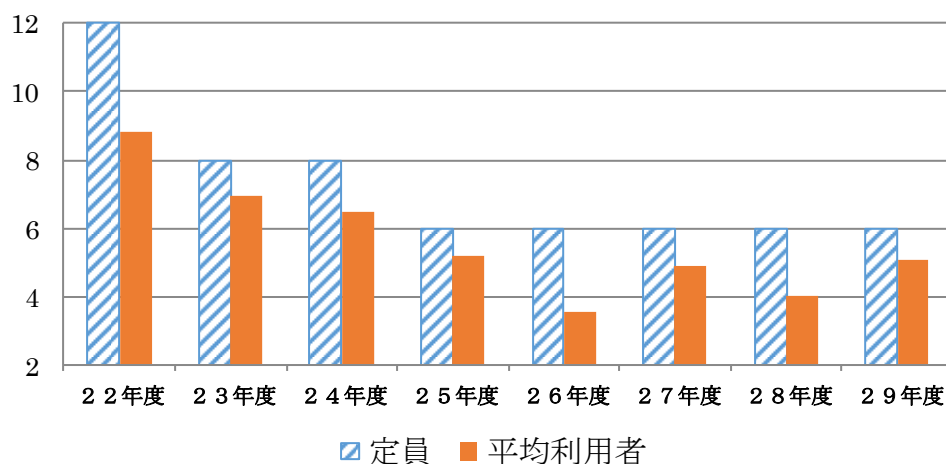
⑨平均利用日数

○自立訓練(生活訓練)事業【定員 6名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	21	22	21	21	21	23	22	23	20	20	22	21.4
登録者数	5	5	6	7	7	8	8	6	6	6	6	6	6.3
延べ 利用者数	83	87	97	130	125	123	117	104	111	91	108	123	108.2
1日当り 利用者数	3.9	4.1	4.4	6.1	5.9	5.8	5.0	4.7	4.8	4.5	5.4	5.5	5.0

定員と1日平均利用者数

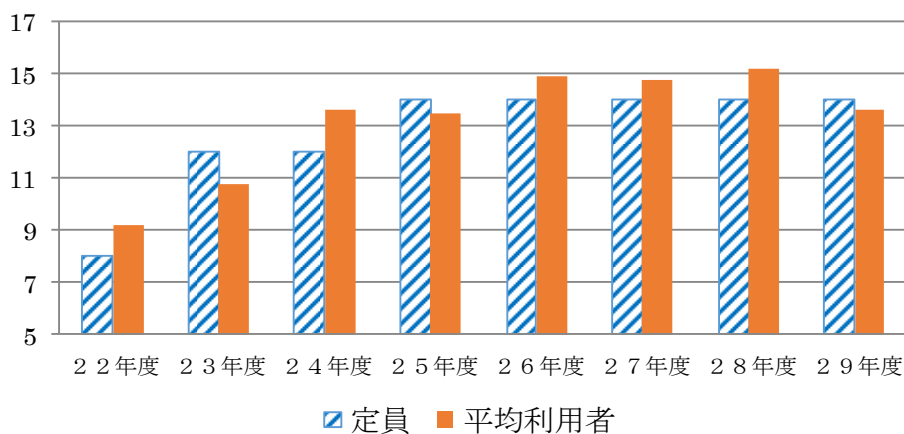


○生活介護事業【定員 14 名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	21	22	21	21	21	22	21	23	20	20	22	21.2
登録者数	16	18	18	19	19	18	18	18	17	17	16	16	17.5
延べ利用者数	257	277	297	303	309	319	291	291	324	259	263	298	290.6
1日当り利用者数	12.2	13.3	13.5	14.4	14.7	15.1	13.2	13.8	14.0	12.9	13.1	13.5	13.6

定員と1日平均利用者数



⑩利用者推移

○利用者推移表

(単位:人)

	年度初	新規通所	退所	年度末
自立訓練 (生活訓練)	4	5	3	6
生活介護	16	3	3	16
合計	20	8	6	22

○退所者の行先

	退所後の様子
自立訓練 (生活訓練)	生活介護(1名)、就労継続B型(1名)、他事業所(1名)、
生活介護	他事業所(1名)・自宅(1名)、入院(1名)

IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援 B 型事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました。
- ③一人ひとりに合った個別支援計画を立案し、それに従った支援を行いました。

2) 作業時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に12:00～13:00を昼食時間とする。)

3) 事業実施内容及び成果

①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携・調整し、カット野菜の売り上げ増につながりました。また他企業と連携し、野菜の加工にも取り組んで地産地消に貢献しました。
- ・既存商品の生産量を増やし、売り上げ増につながりました。

②豆腐工房

- ・地元スーパーへの納品、企業や個人宅への訪問販売を通して、地元との繋がりを大切に継続している事で売り上げ増につながりました。
- ・学校給食センターと連携して地産地消の推進を行い、豆腐だけでなく豆乳や水煮など大豆製品を幅広く使用してもらう事で売り上げ増につながりました。

③印刷工房

- ・メンバーがデザインしたイラストを使ったオリジナル筆箋などを新しく作成することで、さらに創る意欲を高め、作業の幅を広げました。
- ・横の連携をスムーズにし、作業のしやすい環境作りに努めることでミスが減りました。

4) 研修

①「ふぁみりーわーく」との合同研修会を下記のとおり実施しました。

日付	内容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
4.15	福祉制度について知ろう	12	17
7.15	詐欺に合わない為には	19	18
2.17	税について知ろう	18	16
3.17	人権学習	16	16

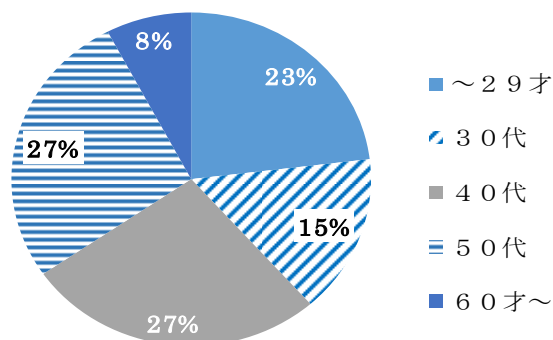
②研修旅行

実施日	場所	内 容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
10.27～28	石川、福井	1泊研修旅行	14	10
11.25～26				

5) 利用者年齢別構成表(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

	～29	30代	40代	50代	60～	計	平均年齢
男性	5	4	1	4	1	15	39歳10か月
女性	1	0	6	3	1	11	45歳4か月
計	6	4	7	7	2	26	42歳7か月



6) 利用者の主な障がい種別(平成30年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳	発達
人数	15名	8名	1名	1名	1名
割合	58%	30%	4%	4%	4%

7) 利用年数(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	4	1	4	6	15	4年8か月
女性	2	4	2	3	11	3年6か月
計	6	5	6	9	26	4年3か月

8) 利用者手帳所持者数(平成30年3月31日現在)

(単位:人)

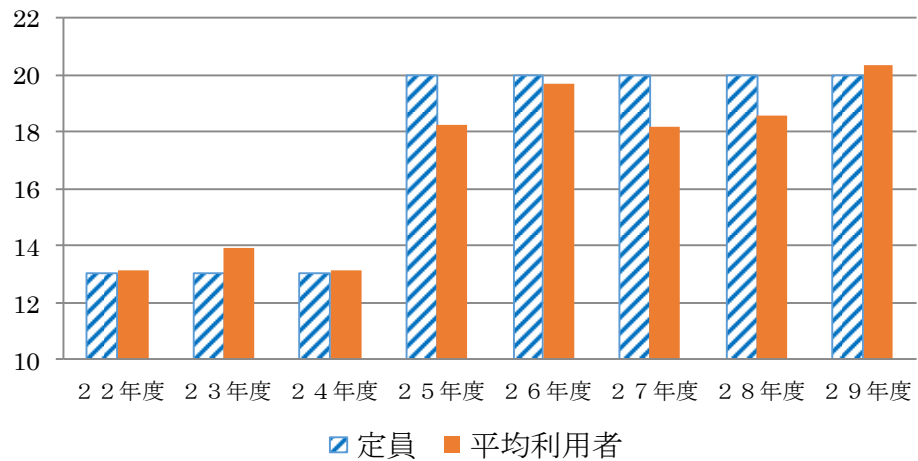
	精神1級	精神2級	精神3級	療育A	療育B	身体	手帳なし	合計
男性	0	7	2	0	5	1	0	15
女性	0	7	0	0	3	1	0	11
計	0	14	2	0	8	2	0	26

9) 平均利用日数【定員20名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	21	22	21	21	21	23	21	23	20	20	22	21.3
登録者数	24	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25.8
延べ利用者数	394	425	467	448	433	422	465	430	459	385	413	463	433.7
1日当り利用者数	188	202	212	213	206	201	202	205	200	193	206	210	20.3

定員と1日平均利用者数



10)利用者推移

(単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
24	3	1	26

注) ()内は年度末退所者数
退所者の行先は、就労(1名)

11)利用者の平均工賃

時給 251円(前年度240円)

12)行事

月日	実施内容
4.6	花見
6.8	ボウリング大会
8.18	納涼祭
9.8	大田市障がい者スポーツ大会
9.12	消防訓練
10.7	亀の子祭
10.27~28	1泊研修旅行(石川、福井)
11.25~26	1泊研修旅行(石川、福井)
12.10	ふれあいフェスティバル
12.12	忘年会
1.5	もちつき大会
2.8	スキー教室(悪天候の為室内レクに変更)
3.13	消防訓練

V. 福祉的就労支援【遊亀館】(就労継続支援 A 型事業)

1) 支援方針

- ①障がい者が雇用の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援しました。
- ②利用者(顧客)へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めました。

2) 利用者の就労時間

8:50 ~ 17:00

3) 利用者人数と賃金

- ①18名 (H30年3月現在)
- ②時給740円 (H30年3月現在) 従業員月額平均賃金 61,403円

4) 活動の報告

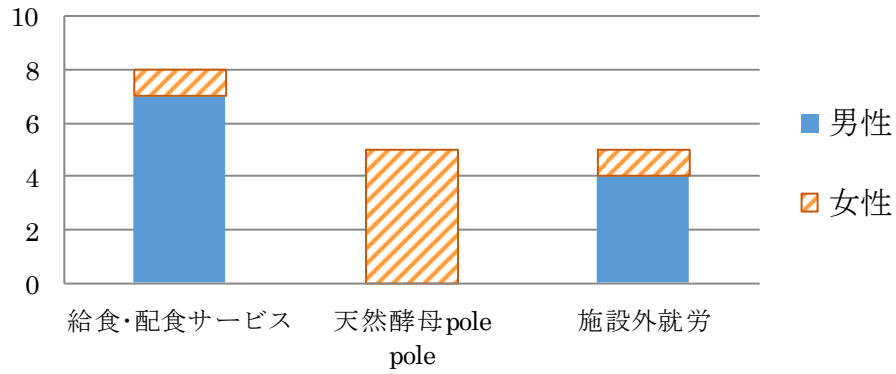
- ①A 型からの一般就職者2名
- ②個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。
- ③従業員の生活支援・健康管理・就労支援を行いました。
- ④就労能力向上の研修会に参加いたしました。
- ⑤年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑥職場実習の受け入れ・従業員の研修会を行いました。
- ⑦地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑧第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

部門別

部門名	内容
配食サービス	介護保険認定者等への普通食や治療食の配食サービスを実施し、出雲養護学校邇摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施しました。
天然酵母 pole pole	パン・焼き菓子の製造販売を行ないました。また、新商品の開発、新規販売先を開拓しました。
施設外就労	法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。また、農福連携事業としてぶどう園にて農作業を行いました。

5) 部門別利用者表 (H30年3月31日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
給食・配食サービス	7	1	8
天然酵母 pole pole	0	5	5
施設外就労	4	1	5
計	11	7	18

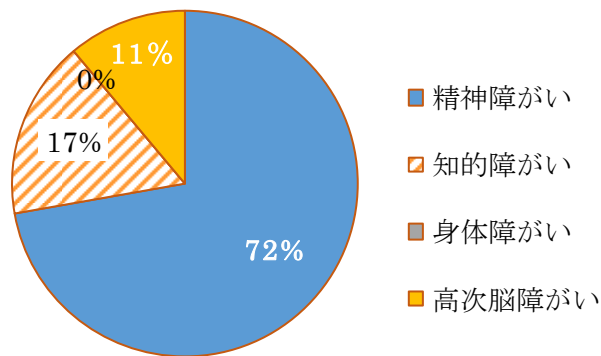


6) 部門別加入保険状況表 (H30年3月31日現在) (単位:人)

	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	
配食サービス	7	0	7
天然酵母 pole pole	0	0	0
施設外就労	5	0	5
合計	12	0	12

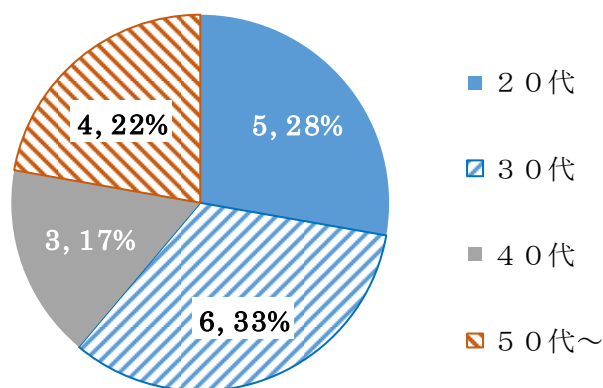
7) 利用者の主な障がい種別 (平成30年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
人数	13名	3名	0名	2名
割合	72%	17%	0%	11%



8) 利用者年齢別構成表 (平成30年3月31日現在) (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代～	計
男性	0	3	4	1	3	11
女性	0	2	2	2	1	7
合計	0	5	6	3	4	18



9)利用者手帳所持者数（平成30年3月31日現在）（単位:人）

	1級	2級	3級	療育	なし	合計
男性	0	6	4	2	0	12
女性	1	3	1	1	0	6
合計	1	9	5	3	0	18

10)職場実習件数 10件

11)職場実習受け入れ件数 2件

出雲養護学校本校1件

江津清和養護学校 1件

12)従業員支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13)従業員の健康管理

体調の自己管理等ができるように、看護師・栄養士による健康講座を実施いたしました。

VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

1) 目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

2) 事業の内容

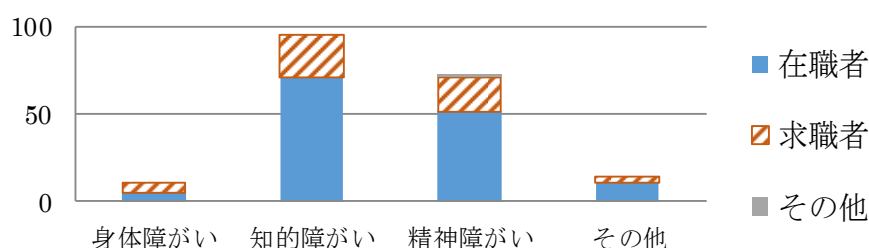
- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センターにより行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。
- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦職場定着のための在職者の交流活動「パキラ」を年4回(5月、8月、10月、12月)開催しました。
- ⑧大田市障がい者自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑨邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑩美郷町・川本町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑪島根県より障がい者就労支援ネットワーク強化・充実事業を受託し実施しました。
- ⑫島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑬島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。
- ⑭島根県立邇摩高校における特別支援教育が必要な生徒に対する就業支援の指導及び助言を行いました。
- ⑮大田市における就労継続支援 B 型事業所の利用におけるアセスメントを受託し実施しました。
- ⑯島根県障がい者の仕事と生活の両立支援事業を受託し実施しました。

3) 支援対象障がい者の状況

①登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職者	5	71	51	11	138
求職者	6	24	20	3	53
その他	0	0	1	0	1
合計	11	95	72	14	192



4) 障がい者に対する支援の実施状況

① 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別) (単位:件)

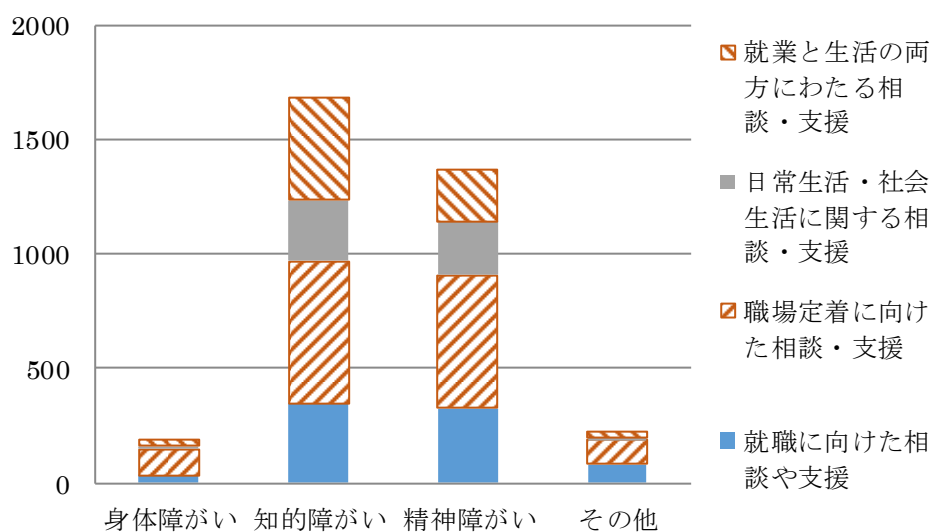
ジョブ亀の子への来所	624
電話・メール	1,396
職場訪問	728
家庭・施設への訪問	212
その他	508
合 計	3,468

② 支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別) (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
就職に向けた相談や支援	35	348	326	81	790
職場定着に向けた相談・支援	112	619	579	103	1,413
日常生活・社会生活に関する相談・支援	12	269	239	16	536
就業と生活の両方にわたる相談・支援	31	446	226	26	729
合 計	190	1,682	1,370	226	3,468

③ 支援対象障がい者の就職件数 (単位:件)

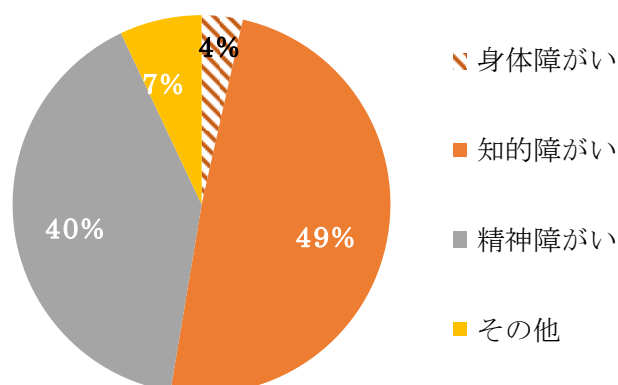
	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
一般 (30 時間以上)	1	2	7	3	13
短時間(20 時間以上 30 時間未満)	0	4	7	0	11
短時間 (20 時間未満)	0	1	0	0	1
合 計	1	7	14	3	25



④ 支援対象障がい者の実習件数

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
3日以上の実習	2	28	23	4	57



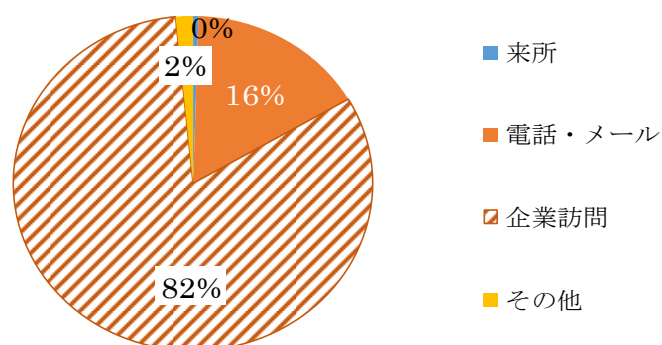
5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

① 相談・支援を行った事業所数・・・126 事業所

② 相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	5
電話・メール	166
企業訪問	842
その他	16
合計	1,029



6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

① 第1回連絡会議開催・・・平成29年6月20日(火) 於:大田商工会議所
参加:31機関 33名

② 第2回連絡会議開催・・・平成30年2月22日(木) 於:あすてらす
参加:35機関 41名

7) 職場定着促進のための在職者の交流活動「パキラ」

① 第1回開催・・・平成29年5月27日(土)

「金銭管理の勉強会・スポーツ交流会」 参加:18名

②第2回開催・・・平成29年8月19日(土)
大田圏域・浜田圏域の在職者交流
「職場で困ったことの対処法・楽しく仕事をするには」
グループワーク・石見銀山歴史について・やきもの絵付け体験
参加:14名

③第3回開催・・・平成29年10月7日(土)
「忙しい上司・先輩へ質問したい時の声のかけ方」
「地域の方とふれあい、日常からいかせるコミュニケーション」
ソーシャルスキルトレーニング・亀の子祭でゲームコーナー担当
参加:19名

④第4回開催・・・平成29年12月16日(土)
「働くモチベーションを維持するには」
「来年度の目標について」
意見交換会・スポーツ交流 参加:9名

8) ネットワーク強化・充実事業

①「障がい者雇用企業見学会」

日 時 : 平成29年7月27日(木)
場 所 : トヨタカローラ島根株式会社、有限会社祖式運送 長久作業所
参 加 者 : 11事業所 2機関 計19名

②「発達障がい者就労先企業視察研修(東広島)」

日 時 : 平成29年12月14日(木)
場 所 : 株式会社藤三 藤三センター、株式会社大創産業 特例子会社
ダイソーウイング、社会福祉法人つつじ サポートオフィス QUEST
参 加 者 : 17名

③「障がい者一般就労体験発表会」

日 時 : 平成30年2月20日(火)
会 場 : 大田市民センター
参 加 者 : 71名

9) 障がい者の仕事と生活の両立支援事業

①第1回

日 時 : 平成29年11月25日(土)
内 容 : 境港・水木しげるロード日帰りバス旅行
参 加 者 : 26名

②第2回

日 時 : 平成29年12月16日(土)
内 容 : スポーツ交流会
参 加 者 : 9名

Ⅶ. 住まいの支援

【タートルホーム】(外部サービス利用型共同生活援助事業)

1) 基本方針

- ① サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。
- ② 将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をします。

2) 共同住居定員

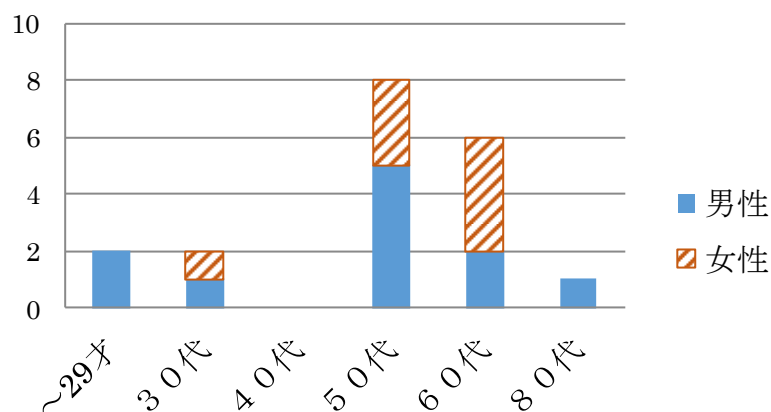
タートルホーム	10名
コーポ亀の子Ⅱ	5名
コーポ亀の子Ⅲ	4名

3) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
19名	19名	3名	1名	19名

4) 入居者構成表(平成30年3月31日現在) (単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60代	80代	計	平均年齢
男性	2	1	0	5	2	1	11	51歳 2か月
女性	0	1	0	3	4	0	8	58歳 8か月
合計	2	2	0	8	6	1	19	54歳 4か月



5) 入居年数(平成30年3月31日現在) (単位:人)

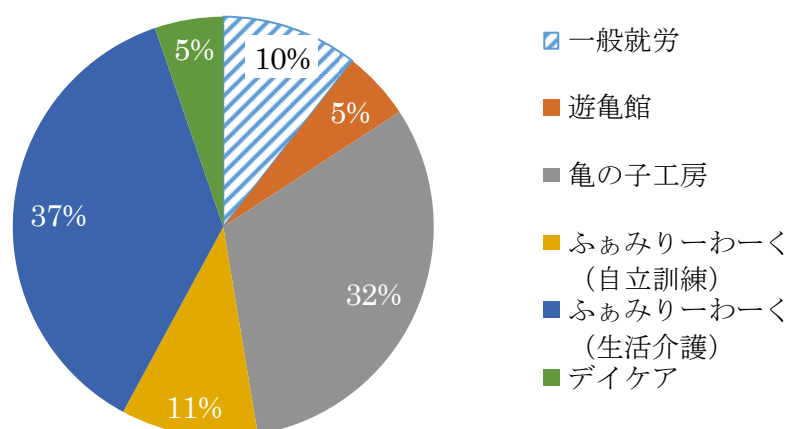
	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	2	2	1	6	11	5年 3か月
女性	1	1	2	4	8	5年 6か月
合計	3	3	3	10	19	5年 4か月

6) 利用者の主な障がい種別 (平成30年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
人数	15名	3名	0名	1名
割合	78.9%	15.8%	0%	5.3%

7) 福祉サービス等利用先 (単位:人)

一般就労	遊亀館	亀の子工房	ふぁみりーわーく		デイケア	合計
			自立訓練	生活介護		
2	1	6	2	7	1	19



8) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。
- 毎月入浴支援や料理教室を実施しました。
- 土日も職員が常勤し、住人の困り事などその都度対応に努めました。

(3) 児童支援部門

I. 保育支援【たから保育園】(認可保育所)

1) 保育方針

- ①子どもの信頼関係を大切にし、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切にし、様々な人との交流の場を広げます。

2) 保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

3) 保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(休止)(有料) 8:30～16:30

4) 職員構成

(単位:人)

園長	副園長 (主任)	保育職員		栄養士	調理員	看護師	事務	計
		常勤	非常勤					
1	1	10	7	1	2	1	1	24

顧問医:やまうち内科 山内院長 顧問歯科医:フジタ歯科 藤田院長

5) 保育人数

①通常保育(平成30年3月)

(単位:人)

0歳児 びしゃもん	1歳児 ふくろく	2歳児 べんてん	3歳児 ほてい	4歳児 えびす	5歳児 だいこく	合計	保育 定員
10	7	11	9	13	9	59	50

②障がい児保育事業

- ・平成29年度・・・該当者なし

③保育事業

- ・平成29年度・・・636名(延人数)

④一時保育事業

- ・平成29年度・・・休止

⑤病児保育【体調不良児対応型】・・・7名(延人数)

6) 保育園行事

行事	実施日	場所	参加者
入園・進級式	4月4日	たから保育園	入園児 58 名・保護者・来賓
礼拝	8回実施	瑞応寺	2～5歳児
誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
お茶のおけいこ	8 回実施	たから保育園	5歳児
英語教室	24 回実施	たから保育園	全園児
お弁当の日 (散歩遠足)	9 回実施	保育園近辺	全園児
カラ弁当の日	2 回実施	たから保育園	全園児
花まつり	4月28日	たから保育園	全園児・保護者参加・かめっこクラブ
親子遠足	5月25日	浜山公園	園児 47 名 家族他
交通安全教室	5月22日	たから保育園	園児 53 名 警察官 2 名
七夕・夏祭り会	7月8日	たから保育園	園児 48 名・保護者他多数
祖父母参観	9月15日	たから保育園	園児57名・祖父母35名
運動会	10月21日	たから保育園	園児 56 名 保護者他多数
保育参加	6/16 7/26.27.28 11/13.21 11/14～16 11/29.30 12/1.4.5 12/11～13	たから保育園	園児 保護者 50 名(延人数)
餅つき会	12月8日	たから保育園	園児 55 名・食育ボラ3名
クリスマス会	12月21日	たから保育園	園児 56 名
節分会	2月2日	たから保育園	園児 50 名
お楽しみ会	2月10日	たから保育園	園児 50 名 保護者他多数
ひな祭り会	3月4日	たから保育園	園児 58 名
お別れ遠足	3月9日	雨天のため、園内 でミニ運動会	全園児
お別れ会	3月19日	たから保育園	園児 54 名
卒園式・親子茶会	3月 24 日	たから保育園	卒園児 9 名・ 在園児 16 名・ 保護者17名・来賓4名

行事	実施日	場所	参加者
身体測定	毎月実施	たから保育園	全園児
歯科検診	6月14日	たから保育園	全園児
内科検診	9月・3月	たから保育園	全園児
防災・消火避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	7回実施 (7～9月を除く)	たから保育園	

○礼拝は、バスで行けるので子どもたちも楽しみにしていました。

○各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズに進行できました。

○お茶のおけいこは回数的にも丁度良かったです。3月のお茶のおけいこは前半に1回行うことで親子茶会の打ち合わせもできて、2回実施できよかったです。卒園児の人数も増え、会場を考えていかないといけないと思いました。

○活動内容、日程を考えて計画していきたいと思います。

○七夕夏祭りを、保育園主体で行うことで、保護者の方に楽しんでいただけたと思います。

7) 地域活動事業

① 世代間交流

開催日	内容
5月10日	ふぁみりーわーく利用者と野菜の苗植え

② 異年齢児交流

開催日	内容
4月18日	新入園児歓迎会
5月25日	親子遠足
7月8日	七夕・夏祭り会
10月21日	運動会
12月21日	クリスマス会
3月2日	ひな祭り
3月9日	お別れ遠足
3月19日	お別れ会

③ 地域交流

開催日	内容
4月28日	花まつり
10月7日	亀の子祭
12月8日	餅つき会

II. 障がい児通所支援

【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

①放課後等デイサービス事業 : 月曜日～土曜日

②児童発達支援事業 : 月曜日～金曜日

但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

①児童発達支援事業 9:00 ～ 13:30

②放課後等デイサービス事業

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見・誕生会
5月	端午の節句・水害避難訓練・誕生会
6月	虫歯予防デイ・広島遠足・スポーツ大会・誕生会
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴
8月	プール遊び・マジックショー・児童クラブ「わんぱくクラブ」との交流・レッツ イングリッシュ・梨狩り・染め物
9月	火災総合訓練
10月	亀の子祭参加・運動会・誕生会

開催月	内容
11月	作品展・スポーツ大会
12月	クリスマス会・凧作り・誕生会・スポーツ大会
1月	初詣・書き初め・凧揚げ・誕生会・雪遊び・スポーツ大会
2月	節分・写真展・スポーツ大会
3月	ひな祭り・火災総合訓練・スポーツ大会・お別れ会・誕生会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。
- ③島根県自閉症協会大田地区部会、めだか教室及び、びよんびよん教室に職員が参加しました。

9) 利用児童数

①放課後等デイサービス事業 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	24	23	26	25	24	24	25	24	24	23	23	26	24.2
利用児童数	10	10	11	13	13	13	13	13	13	12	13	13	12.2
延べ利用児童数	144	143	186	219	218	208	218	206	207	183	195	220	195.5
1日当り利用児童数	6.0	6.2	7.2	8.8	9.1	8.7	8.7	8.6	8.6	8.0	8.5	8.5	8.1

②児童発達支援事業

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	0	9	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.9
利用児童数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
延べ利用児童数	0	9	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.9
1日当り利用児童数	0	1.0	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1

【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

6) 利用定員 10名

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見
5月	スポーツ大会・水害避難訓練・消防署見学・誕生会
6月	むし歯予防デー・広島遠足・
7月	救急法・七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴
8月	マジックショー・レッツ イングリッシュ・梨狩り・染物・プール遊び・ クッキング・夏祭り
9月	火災総合訓練・クッキング・誕生会
10月	亀の子祭参加・運動会
11月	スポーツ大会
12月	クリスマス会・大掃除・クッキング・凧作り・誕生会・
1月	初詣・書初め・凧上げ・雪遊び・誕生会・クッキング・スポーツ大会
2月	節分・スポーツ大会
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お楽しみ会・誕生会・ クッキング
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原信シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	24	23	26	25	24	24	25	23	24	23	23	26	24.1
利用児童数	15	15	16	16	16	15	15	15	16	16	15	15	15.4
延べ利用児童数	202	197	204	229	232	190	233	209	248	190	196	252	215.1
1日当り利用児童数	8.4	8.6	7.8	9.2	9.7	7.9	9.3	9.1	10.3	8.3	8.5	9.7	8.9

【かめっ子クラブⅢ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

6) 利用定員 10名

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見・誕生会・スポーツ大会
5月	消防署見学・誕生会・水害避難訓練
6月	むし歯予防デイ・スポーツ大会・広島遠足
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び・救急法・海水浴
8月	陶芸教室・梨狩り・染物・プール遊び・マジックショー・学童クラブ「わんぱくクラブ」との交流、レッツ イングリッシュ・大掃除・夏祭り
9月	火災総合訓練・誕生会
10月	亀の子祭参加・運動会・
11月	スポーツ大会
12月	クリスマス会・大掃除・クッキング・凧作り・誕生会・スポーツ大会
1月	初詣・書初め・凧上げ・誕生会・雪遊び・スポーツ大会
2月	節分・スポーツ大会
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お別れ会・誕生会・スポーツ大会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

8) 支援活動内容

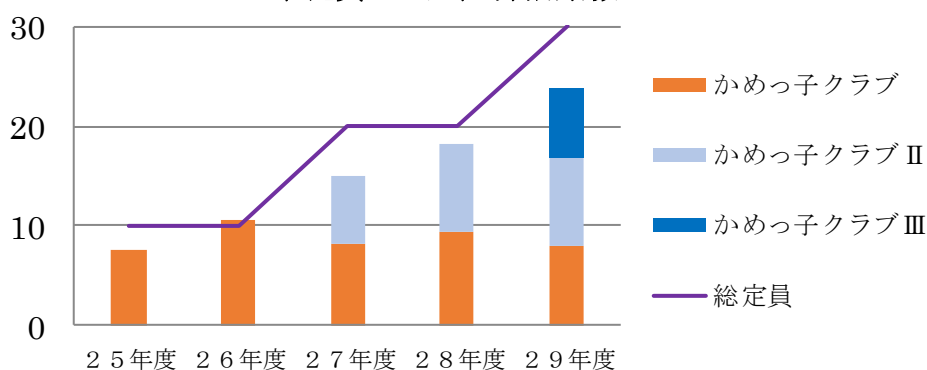
- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	24	23	26	25	24	24	25	24	24	23	23	26	24.2
利用児童数	9	9	9	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9.0
延べ利用児数	158	163	207	194	169	158	169	167	169	138	151	180	168.5
1日当り利用児数	6.6	7.1	8.0	7.8	7.0	6.6	6.8	7.0	7.0	6.0	6.6	6.9	7.0

総定員と1日平均利用者数



(4)メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めております。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

(5)苦情解決

平成29年度は、利用者や地域住民からの苦情申し立てがございませんでした。今後も、利用者が利用しやすい法人であるよう心がけていきます。

(6)職員

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。そして、職員の資質向上の為に勉強会を行う他、研修会へも積極的に参加いたしました。更に、地域社会にあつては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

1). 職員の役割

＊基本理念

①基本的人権の尊重

②職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

2)保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。

(1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査

(2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。

①血液検査 ②心電図 ③胃検査

(3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。

亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)

遊亀館(配食サービス・天然酵母 pole pole の従業員及び職員)

たから保育園職員

3)勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

(7)非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。

1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、月1回の自主点検及び年1回の職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。

2) 避難訓練

①内容：総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。

②開催日：(火災総合訓練) 9月12日(大田市消防本部職員立会)
3月13日
(夜間避難訓練) 3月13日(タートルホーム)
(水害避難訓練) 5月18日

3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

6. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の活動に参加または、実施を行いました。

内 容	実施事業所	実施日 又は回数	人数
大田市駅周辺のクリーン活動	ふぁみりーわーく	H29.4.24	15
大田市海岸(鳥井海岸)清掃活動	法人全体	H29.7.16	27
天領さん	法人全体	H29.8.6	44
町内ごみ拾い活動	のほほん	6回	延べ 20
ぴよんぴよん教室	かめっ子クラブ	1回	延べ 1
めだか教室	かめっ子クラブ	5回	延べ 6